

平成29年度 学校経営計画表

1 学校の現況

学校番号	81	学校名	茨城県立鬼怒商業高等学校					課程	全日制		学校長名	川松 秀夫				
教頭名	宇都木 直之					事務(室)長名	棚井 一博									
教職員数	教諭	38	養護教諭	1	常勤講師	6	非常勤講師	4	実習教諭 実習講師 実習助手	4	事務職員	4	技術職員等	5	計	62
生徒数	小学科		1年		2年		3年		4年		合計		合計 クラス数			
			男	女	男	女	男	女	男	女	男	女				
	商業科		56	104	53	100	61	87	/		170	291	12			
	情報ビジネス科		14	26	6	34	6	34			26	94	3			

2 目指す学校像

本県教育の目標・校訓をふまえ、地域社会の要請に応えながら、人間性豊かな個性の伸張を図り、教養ならびに専門的知識を高め、自主性・自立性を備え、時代の変化やグローバル化に対応できる地域のリーダーとなる人材を育成する。

3 現状分析と課題 (数量的な分析を含む。)

項目	現状分析	課題
学習指導	・分かる授業を推進し、内容の充実を図るために、2週間の授業公開期間を設け、教員間の研修の場を設けた。成績不振者には、放課後や長期休業中に継続的に補習授業を行った。授業時間の確保には、出張・年休等の際の授業の振替やもらい授業が徹底できた。心の教育では、1学年の全生徒が何らかのボランティアに参加し、地域社会に貢献した。	・更なる授業の充実を図り、「主体的・対話的で深い学び」を実現するために、教師の指導力向上を目的とした授業公開や研修の機会を確保する。学習意欲の低い生徒に継続的・組織的な指導方法の探求が挙げられる。
生徒指導	・問題行動の未然防止のため講話・集会・学校生活アンケートを実施した。また、昼休みや授業中の校内巡回等も実施した。服装指導や遅刻指導を全職員で取り組んだ。交通事故での迅速な対処法について指導した。生徒は70%以上が校則を遵守し、基本的生活習慣が身に付いていると答えている。	・生徒のアンケート回答結果に反し、欠席・遅刻の問題が見られる。また問題行動による特別指導もあり、基本的生活習慣の確立に向けた組織的・効果的な指導が必要である。職員間のさらなる共通理解を図り、一人一人の生徒にきめ細やかな厳しい指導をする。
進路指導	・各学年ともに実施したキャリアガイダンスや就業体験、その他計画的な行事が、生徒の実態と本校の進路状況を踏まえた啓発的・体験的な内容であった。進路決定率は就職・進学ともに100%であった。生徒アンケートでも60%の生徒が進路の指導に対して満足している。	・主体的に進路を選択し、希望実現100%を目指すために、日々の学習活動の工夫と専門分野の知識修得やビジネス活動体験、適切なキャリア教育の年間計画が必要とされる。
特別活動	・学校行事においては、生徒会役員とのコミュニケーションを図ることで、円滑な運営が実現できた。文化祭では、生徒会主体の立案・実施を実現させ、生徒の自主、自立の心を育むことができた。生徒アンケートでは部活動や特別活動、学校行事に仲間と積極的に参加していると答えた生徒が70%であった。	・部活動や校外活動、学校行事等をさらに充実させ、効果的に褒めることで生徒の自己有用感・達成感を育成できるようにする。

4 中期的目標

本校の目指す学校像を踏まえ、鬼怒商業高校生としての誇りを持ち、地域のリーダーとなって社会に貢献できる人材の育成に努め、活気ある校風の確立を目指す。そのため、次の5項目を努力目標とする。

- 1 生徒の個人的資質の向上に努める。
- 2 専門的知識の育成に努める。
- 3 保護者や地域の期待と信頼に応える学校づくりに努める。
- 4 生徒一人ひとりの学力や個性を伸ばす学校づくりに努める。
- 5 安心・安全な学校づくりに努める。

5 本年度の重点目標

重点項目	重点目標
1 生徒の個人的資質の向上に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶の奨励、遅刻・欠席の防止等、基本的生活習慣の徹底やコミュニケーション能力の向上 ・授業・部活・行事など学校教育活動全体を通して生徒の自己肯定感、達成感や学校帰属意識の向上
2 専門的知識の育成に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的・対話的で深い学びのある授業を重視した授業改善と、分かる授業の展開による学力の向上 ・商業に関する専門的知識の修得と実践的・体験的な学習の充実
3 保護者や地域の期待と信頼に応える学校づくりに努める。	<ul style="list-style-type: none"> ・募集人員の定数確保とキャリア教育充実による進路実現100% ・出前授業やHPを活用した教育活動の効果的な情報発信 ・ボランティア活動や地域でのビジネス活動の充実
4 生徒一人ひとりの学力や個性を伸ばす学校づくりに努める。	<ul style="list-style-type: none"> ・指導方針に関する職員全員の共通理解・実践（同じベクトル）、モチベーションの向上、風通しの良い職場 ・組織マネジメントを推進し、学年会、教科会、運営委員会、職員会議での活発な意見交換による学校経営・業務の改善
5 安心・安全な学校づくりに努める。	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめ・体罰・災害等の防止や迅速な対応 ・HR, 授業, 二者面談や三者面談を活用しての生徒一人ひとりに対する丁寧な理解